

事務事業名	三刀屋健康福祉センター管理事業	所属部	三刀屋総合センター	所属課	市民福祉課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	市民福祉グループ	課長名	土屋 和則
	施策名	〈24〉地域福祉の充実	担当者名	藤原 敦	電話番号	0854-45-9501 (内線) 4313
	目的: 対 象	市民	意図	地域で支え合い、安心して暮らす。	基本事業名	〈070〉地域福祉の推進体制の充実
	目的: 対 象	市民	意図	地域でつながりを持ち、支え合う。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 0:11501 事業名 項 目 中事業 中事 0:51013 業名 社会福祉施設管理事業 三刀屋健康福祉センター管理事業

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
指定管理(指定管理者＝雲南市社会福祉協議会)により三刀屋健康福祉センターの施設管理を行っている。 ①施設及び設備の使用許可に関する業務 ②使用料の徴収、減免及び還付に関する業務 ③施設等の維持管理に関する業務 市民の地域福祉、健康づくりの拠点施設として利用している。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動) 指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い	R2年度計画(R2年度に計画する主な活動) ・R元年度と同様 ・指定管理(H30～R2)				
	② 活動指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)
ア	指定管理料	千円	25,084	25,052	25,284	25,516
イ	監督指導回数	回	4	4	4	4
ウ	使用許可件数	件	1,909	1,992	1,998	1,900
エ						

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	施設利用者	③ 対象指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
			ア	施設利用者数	人	27,943	26,406	25,879	30,000
			イ						
			ウ						
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	利用者が利用しやすい施設環境をつくる。(利用者に地域福祉活動や健康増進を図れる安心安全な場所の提供を図る)	④ 成果指標	単位	H29年度(実績)	H30年度(実績)	R元年度(実績)	R2年度(計画)	
			ア	苦情件数	件	0	0	0	0
			イ	施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0
			ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	指定管理料	25,284千円	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
	事業費内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	7,297	7,630	7,768	7,716	
		一般財源	千円	17,787	18,636	17,516	17,800	
		事業費計(A)	千円	25,084	26,266	25,284	25,516	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1		
		延べ業務時間	時間	71	71	71		
		人件費計(B)	千円	289	308	301		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	25,373	26,574	25,585		

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどうか変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
H18年度から指定管理を行っており、適切に管理されている。	H18年度から指定管理制度導入、指定管理者により施設管理。 また、H27年度から木質バイオマスエネルギーを導入した。	経年劣化による施設、設備の修繕箇所が増えてきているので、壊れた際にすぐ対応してほしい。

2 事後評価【SEE】

A	目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合 →	見直し余地があるとする理由 市民の健康と福祉の充実を図る目的										
		② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合 →											
		③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合 →											
B	有効性	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？ <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由	指定管理者により適切な施設管理がはかられている。										
		⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ <input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 理由	三刀屋健康福祉センターは、子育て支援センター、ディサービス、介護事業所、温水プール等福祉及び健康づくりに市民に利用されている施設であり、廃止・休止は市民サービスの低下を招く。指定管理制度を止めると市直営の管理業務が生じる事になる。										
		⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？ <input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 → (具体的な手段や類似事業名) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない 理由	市が管理する施設の維持管理であり、現状では他の手段は考えられない。										
		⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	健康福祉センターは建設から22年が経過し、修繕等の経費の増加が予想される。										
C	効率性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？ <input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由	施設管理については、指定管理である。(人件費削減余地なし) 施設・設備の老朽化に伴い、それに対応する業務の増が予想される。										
		⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？ <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由	誰でも利用できる施設であり、公平・公正である。										
D	公平性	① 1次評価者としての評価結果											
		<table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">A 目的妥当性</td> <td style="width:15%;"><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td style="width:15%;"><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>B 有効性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>C 効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>D 公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>		A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性
A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり											
		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 適切な管理ができた。 (建設後、22年経過。H26年度、森林バイオマスエネルギー事業によりボイラー等の設備改修を行っているが、他の設備などで修繕が必要な箇所が出てくると思われる。)											

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	② 改革・改善による期待成果																					
施設の管理方法としての指定管理は引き続き行う。	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																						